



商店街のにぎわい創出
まちなか彩る着道楽の祭典

着道楽 イン きりゅう

その名のとおり、着道楽が集い街なかに華やかさを演出する「着道楽インきりゅう」。平成5年の初開催以来、多くの着道楽にとって和服に身を包む絶好の機会として定着している。

桐生商店連盟協同組合（大澤豊理事長）（以下、商店連盟）が主催する同イベントは、商店街5ヶ所にお茶席を設け、来場者に本格的な抹茶を無料で提供する。本町三丁目商店街、中央商店街、末広町商店街、本町六丁目商店街、錦町商店街に設けられる茶席では、それぞれ異なる流派のお茶が振舞われることも人気の一つ。また、茶席を2ヶ所以上まわると抽選会に参加できるスタンプラリーを実施し、商店街の回遊性を高める工夫がされる他、舞妓や人力車も登場しイベントの雰囲気を盛り上げる。

元々は市街地の空洞化や大型店の攻勢により活気を失った商店街に、再び賑わいを呼び戻そうと始まったのが同イベント。着物、茶席、抽選と商店街の“もてなしの心”がブレンドされ、桐生の秋を代表する一大イベントへ成長を遂げている。

本町通り、錦町通り、そして末広通りと、中心市街地の背骨に沿って形成される商店街は、現代の桐生商業界の中心。しかしながら、商業が織物工業の従属的立場から脱却し、本格的な振興発展を遂げたのは戦後間もなくのことだったという。繊維以外の多角産業の移入を進め、大阪や名古屋に匹敵する一大商工業地帯への発展を視野に入れる中、昭和23年11月に誕生したのが商店連盟であった。設立以来約70年、まちの変遷を見守り、商業界をリードしてきた商店連盟は、空き店舗の増加や組合員の減少にも負けず、イベントを通じて「元気な桐生の商店街」を発信し続けている。

今年の「着道楽インきりゅう」は、桐生ファッションウィーク参加事業として11月3日（木）文化の日で開催される。「桐生きもの日」である同日、織都・桐生では、晴れ着を着こなす着道楽たちが今年もまちに溢れる。



● イベントに関するお問合せ…桐生商店連盟協同組合事務局（桐生商工会議所内）
電話／0277-45-1201